

2025 年度「アセアン+ONE 留学生向け奨学金」の選考スキーム

I. 募集(1~3月上旬)

1月初め、味の素グループ現地 6 法人(タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、ロシア) <以下「現地法人」と云う>、が主要大学に募集要項配布し、募集開始。同時に各現地法人のインターネットのHPにて告知。

3月上旬頃、締切り。

II. 選考(3月下旬~7月)

[1次選考] 3月下旬~4月

1) 書類審査等にて選考

「申請書類による選考の審査方針」

1) 最終出身大学において一定以上の成績であること(ex.成績が上位5%以内のもの GPA3.7以上など。)

2) 専攻分野及び研究計画が詳細かつ具体的に記述されていること、など。

① 現地法人による選考(3月下~4月上旬)

上記審査方針1)、2)に従い、現地法人にて選考委員会を編成し、1カ国約3名を選考する。(4月上旬までに)

② 公益財団法人味の素奨学会(以下「奨学会」という)における選考(4月下旬)

申請書類を奨学会に送ってもらい(送付時に現地での選考順位を添付のうえ)、奨学会の選考委員会にて書類選考(4月下旬)を行う。これを参考に、現地で一次選考合格者(3名)を決定する。(4月下旬)

[2次選考および受入内諾書の取得] 5月~7月

◇ 応募可能な研究科

☆東京大学大学院

・医学研究科

・理学研究科

国際保健学専攻

・工学系研究科

・情報理工学系研究科

・農学生命科学系研究科

・薬学系研究科

・新領域創成科学系研究科

・数理科学研究科

・情報学環・学際情報学府

(先端表現情報学、総合分析情報学、生物統計情報学コース)

☆京都大学大学院

・医学研究科

・理学研究科

医科学専攻

・薬学研究科

・工学研究科

・農学研究科

・人間・環境学研究科
共生人間学専攻(認知・行動科学、数理科学各講座)、
相関環境学専攻

・エネルギー科学研究科
・生命科学研究所
・情報学研究科

☆名古屋大学大学院

・医学研究科
医科学専攻
・多元数理科学研究科
・工学研究科
・生命農学研究科
・環境学研究科
・創薬科学研究科
・情報科学研究科

☆東京科学大学大学院

・理学院
・工学院
・物質理工学院
・情報理工学院
・生命理工学院
・環境・社会理工学院
・医歯学総合研究科
医歯理工保健学専攻

☆お茶の水女子大学大学院

・人間文化創成科学研究科
ライフサイエンス専攻、理学専攻、生活工学共同専攻

☆女子栄養大学大学院

・栄養学研究科
・保健学研究科

☆早稲田大学大学院

・基幹理工学研究科
・創造理工学研究科
・先進理工学研究科
・環境・エネルギー研究科
・情報生産システム研究科

1)5月上旬～6月上旬(2次選考および受入内諾書の取得)

現地法人の選考委員会にて、一次選考合格者(約3名)に対して面接等を行い、1名+補欠1または2名、に絞りトップの1名を2025年度 AJINOMOTO SCHOLARSHIP 受給候補者と認定する。(補欠合格者は、この受給候補者が大学から受入内諾書を取得できなかった場合、受給候補者となる。)認定を受けた受給候補者に、希望する大学の研究科の指導教員から2025年度入学のための受入内諾書をもらうよう指示し、その時、「2025年度 AJINOMOTO SCHOLARSHIP 受給候補者の認定書」を発行する。その後、受給候補者は次の手順で、すみやかに受入内諾書をもらうようにする。

手順:

- ① 希望する研究科の指導教員あてに次のメールを出す
 - (ア) 来年4月修士課程の研究生(あるいは修士生)として入学したい。留学生受け入れをしているか確認する。
 - (イ) 2025年度 AJINOMOTO SCHOLARSHIP 受給候補者で、正式出願前に受け入れの内諾をいただきたいことをつける。

② 必要書類等を e-mail 等で送付し、受入の審査を依頼する。

※ 内諾書(あるいは、受入内諾のメール等)を受けるため、奨学金応募書類を有効に活用し、大学へ提出する。

但し、

(ア) 希望する指導教員のメールアドレスが分からない

(イ) 希望する指導教員宛にメールを送ったが返答がない

上記の場合、各研究科メールアドレスに問い合わせをする。

(参考)メール送付時の記入必須事項

a) 氏名:

b) 国籍:

c) 現況(在籍、卒業大学又は企業名):

d) 味の素奨学金の受給候補者であること:

e) 研究生又は修士生として入学したいこと:

f) 味の素奨学会から受入内諾書(又は内諾のメール)を入手するよう指示されたこと:

g) 希望する受入指導教員の氏名:

h) 研究内容:

i) 日本語能力について:

j) 英語や他の言語(母国語以外)の能力について.

◇ 各大学の特記事項

☆東京大学大学院

・理学系研究科は内諾書だけ発行し、事前の内諾プロセスなし。大学への正式出願後、合否が決定する。

・数理科学系研究科は修士課程からのみ応募可能。事前の内諾が必要ない場合もあるので、留学生担当係に連絡し、希望する指導教員の研究室への入学方法を確認する。

☆京都大学大学院

・人間・環境学、エネルギー科学、生命科学各研究科の修士課程試験は日本語で行われる。

・人間・環境学研究科の研究生は日本語能力試験 N1 レベルが応募の条件となる。

☆名古屋大学大学院

・理学研究科の修士課程試験は日本語で行われる。

・多元数学、環境学、創薬科学各研究科は、修士課程試験で英語受験を希望する場合は事前に相談する。

☆東京科学大学大学院

・**医歯学総合研究科以外**の研究科に英語で学位が取得できるプログラムがあるが、事前に相談する。

・**医歯学総合研究科は修士受験時に日本語能力検定 1 級程度の日本語力が必須である。**

☆お茶の水女子大学

- ・女性のみ応募可能。
- ・生活工学共同専攻の研究科の修士課程試験は日本語で行われる。
- ・ライフサイエンス、理学各専攻は、修士課程試験で英語受験を希望する場合は事前に相談する。

☆女子栄養大学大学院

- ・男女ともに応募が可能である。

☆早稲田大学大学院

- ・原則修士課程のみの応募とする。(奨学金支給期間2年間)
- ・日本語習得の為に(日本語教育研究センター等)本科生の学業の妨げにならない範囲で履修を補助する。
- ・4月入学のみ。
- ・環境・エネルギー研究科は日本語能力試験 N2 レベルが応募の条件となる。
- ・母国に於いて16年未満の修学期間に満たない学生は応募出来ない。
- ・入学年度4月1日において22歳に満たない者の入学は認められない。

2) 6月初め～7月初め(2次選考および受入内諾書の取得)

受給候補者は各研究科・指導教員から内諾書がでたら、速やかに現地法人の担当者および奨学会に連絡する。また、受入内諾書(あるいは、受入内諾のメール等)を必ず添付させる。

3) 6月(2次選考および受入内諾書の取得)

認定を受けた受給候補者が速やかに内諾を受けられない場合、補欠合格者に同様の手続きを取らせ、7月下旬までに受入内諾書(あるいは、受入内諾のメール等)を入手させる。

4) 7月(2次選考および受入内諾書の取得)

現地法人は受入内諾書をもらった受給予定者に対し、再度面接を行い、合格内定者を決定し、通知する。面接は、日本留学に対する明確な目的意識を持ち、日本の大学についての情報収集を行っているものであること。日本留学の意思が固いことを確認し、合格が内定したことを伝える。

III. 正式出願

合格内定者には速やかに必要書類をそろえて出願をするよう指導する。

以上